
第 77 回数理社会学会大会 (JAMS77) 大会案内

日時：2024 年 8 月 30 日 (金) ～8 月 31 日 (土)

会場：東北大学川内キャンパス

大会委員長：浜田宏 (東北大学)

共催：東北大学大学院文学研究科

● 第 77 回大会開催校より

開催にあたって

第 77 回数理社会学会大会を 8 月 30 日・31 日の日程で、東北大学川内南キャンパスを会場として開催いたします。東北大学大学院文学研究科との共催です。東北大学での学会大会の開催は、1999 年第 28 回大会以来のことで、25 年ぶりの開催となりました。前回の開催時にはなかった仙台空港アクセス線 (2007 年) や仙台市地下鉄東西線 (2015 年) の開通により、会場へのアクセスが向上しています。

東北大学は仙台市内に「川内」「青葉山」「片平」「星陵」の四つのキャンパスがあり、今回大会が開催されるのは「川内」です。川内キャンパスは旧仙台城 (青葉城) 内に位置しており、本学の附属図書館本館が設置されているのをはじめ、近隣には宮城県美術館・仙台市博物館・仙台国際センター等が点在する仙台随一の文教地という環境にあります。また大会会場の建物の近くに、仙台城大手門跡があり、そこから坂を登った仙台城跡 (青葉城址) からは政宗公騎馬像の視点で仙台市を一望できます。

大会準備委員会委員一同、皆様に快適な環境の中で発表を行い、JAMS ならではの活気あふれた議論を交わし、充実した時間をお過ごしいただけるよう尽力する所存です。仙台で皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

浜田 宏 (東北大学)

● 第 77 回数理社会学会のご案内

第 77 回数理社会学会大会は下記の要領で開催されます (プログラムをウェブ上で公開中です)。活発で刺激的な研究交流の場となるよう、みなさまのご参加をお待ちしています。

- 1 期日：2024 年 8 月 30 日 (金) ～8 月 31 日 (土)
- 2 会場：東北大学川内キャンパス 文科系総合講義棟
- 3 アクセス

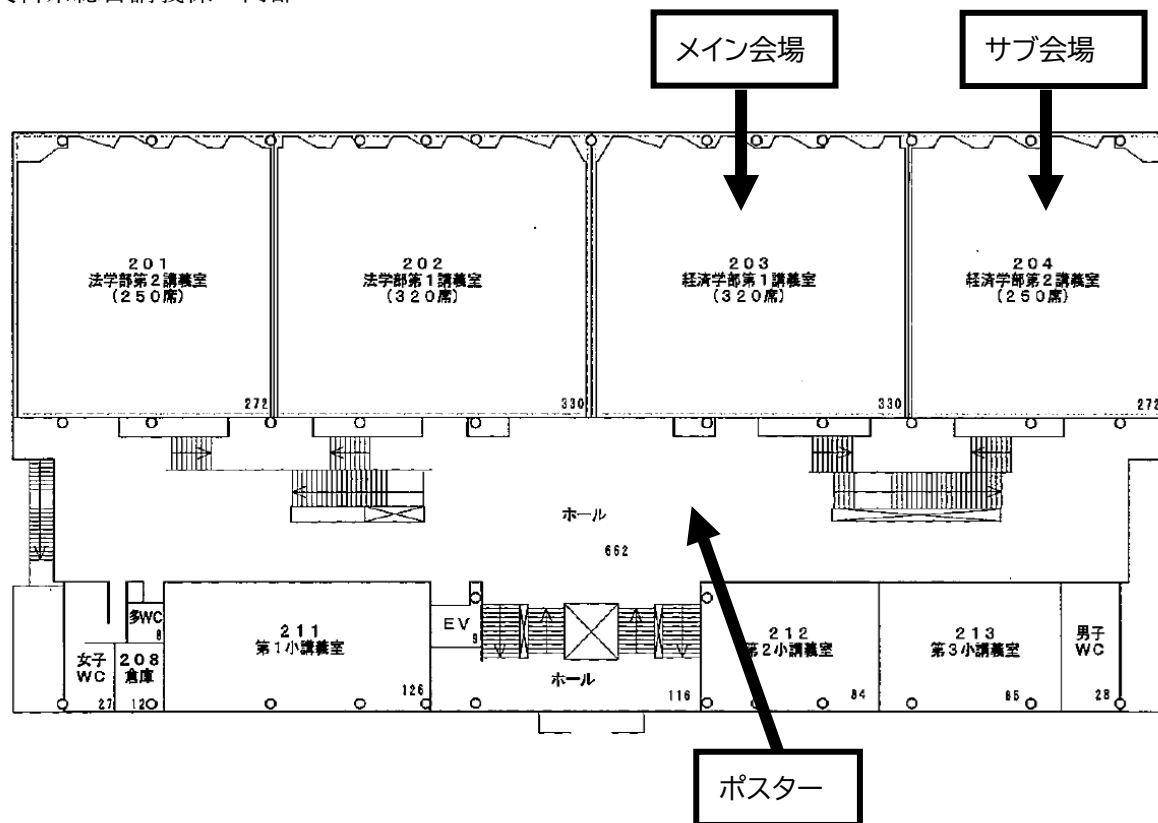
飛行機: 仙台空港→仙台空港アクセス線仙台空港駅→JR 仙台駅→地下鉄東西線仙台駅→川内駅
 新幹線: JR 仙台駅→地下鉄東西線仙台駅→川内駅

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>



川内駅下車後，南出口 1 から文科系総合講義棟 (C19) まで徒歩で 8 分 (550m) です。

文科系総合講義棟 内部



- ・ 受付：文科系総合講義棟（C19）・入口
- ・ 会員控室・抜き刷り交換コーナー：文科系総合講義棟（C19）・第3小講義室
- ・ ワンステップセミナー：文科系総合講義棟（C19）・第2講義室
- ・ 編集委員会：文学研究科棟（C13）・607演習室
- ・ 研究活動委員会：文学研究科棟（C13）・605演習室
- ・ 大会会場：文科系総合講義棟（C19）・第1講義室，第2講義室
- ・ 総会：文科系総合講義棟（C19）・第1講義室
- ・ 萌芽的セッション会場：文科系総合講義棟（C19）・2階ホール

- 4 参加費：
一般（会員）4,000 円 学生・院生（会員）1,000 円
一般（非会員）5,000 円 学生・院生（非会員）2,000 円
- 5 懇親会：
一般 6,000 円 学生・院生 2,000 円
- 6 宿泊：各自でご予約ください。仙台駅周辺にホテルがございます。川内キャンパスは駅の西側です。
- 7 昼食：30日は上記マップのB01とC20で生協の食堂が営業しています。31日はB01のみ営業予定です。大会事務局では、お弁当の準備は行いません。
- 8 **【参加登録】**
参加予定の方は事前登録の上、参加費をおさめることで学会大会に参加いただけます。
参加登録の締切は2024年8月23日（金）です。参加登録された方に振込案内メールをお送りしますので、2024年8月26日（月）までに振込をお願いいたします。
【非会員用】参加登録申し込みフォーム：
(研究事務局挿入)
【会員用】参加登録申し込みフォーム：
()
- 9 問い合わせ先

研究事務局 〒600-8234 京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学 産業社会学部 金澤 悠介
E-mail: jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院 文学研究科 浜田 宏
E-mail: jams.meeting77[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

● 第 77 回数理社会学会大会時のワンステップアップ・セミナーのご案内

第 77 回大会前日にワンステップアップ・セミナーを、下記の要領で開催します。

1. 題目：（不）自然実験を利用した因果推論
2. 講師：鎌田拓馬
3. 日時：2024 年 8 月 29 日（木）15:00～17:00
4. 会場：文科系総合講義棟（C19）・第 2 講義室
5. 内容：近年、社会科学で因果推論を用いた実証研究が盛んである。しかし、隣接分野である経済学や政治科学と比べると、社会学では（不）自然実験を利用した実証研究は主流ではない。本セミナーでは、（不）自然実験を用いた研究デザインの考え方と応用を解説する。
6. 目標：
 - ・（不）自然実験を用いた研究の醍醐味を知る
 - ・社会的リサーチクエスチョンに対する（不）自然実験的アプローチの応用方法を習得する
 - ・効果的な研究デザインの構築ポイントを学ぶ：統計モデルから研究デザインへ
7. 扱う項目：
 - ・（不）自然実験を利用した研究で求められる要素：制度的背景の理解、研究デザインの妥当性評価とプラセボテストの活用
 - ・差分の差分法、操作変数法、回帰不連続デザイン（いずれかを重点的に解説）と識別仮定
 - ・各研究デザインの応用例
8. テキスト：

Cunningham, Scott. 2021. *Causal Inference: The Mixtape*. Yale University Press.

<https://mixtape.scunning.com>
9. 参加費：無料
10. 定員：60 名（先着順）
11. 参加資格：会員・非会員を問わず、どなたでも参加できます。
12. 留意事項（事前のソフトのインストールなど）：
 - ・潜在結果変数モデルの基本概念を理解していると、セミナー内容をよりスムーズに理解できると思います。
 - ・セミナーでは、2～3 例を取り上げ、参加者の皆さんが実際に検討している仮説を（不）自然実験的研究デザインの枠組みで検討するエクササイズを行いたいと考えています。また、すでに研究デザインがある場合は、その妥当性についても議論したいと思います。関心のある方は、学会の 1 週間前までに研究概要（仮説・データ・検討中の手法・研究デザイン（ある場合））を簡潔にまとめ、kamada@osipp.osaka-u.ac.jp までお送りください。応募お待ちしております！